

第1回 9月2日(金)

実践栄養学

高齢者の栄養管理
～低栄養を予防するための食事づくり～

高齢者の栄養の課題を解決することは、健康寿命の延伸において重要です。加齢に伴う身体的変化により、適切な栄養摂取のためには様々な配慮が必要になってきます。「高齢者の『食べる』を支える」をテーマに、高齢者施設との共同研究の結果を踏まえてお話しさせていただきます。



同志社女子大学
生活科学部 食物栄養科学科 教授 小切間 美保

後日配信あり

第2回 9月9日(金)

電気工学

乗り物を電気で動かす
～パワーエレクトロニクスで拓くモビリティの未来～

世の中、何でも電気で動いています。日本で消費される電力量はこの数十年で10倍以上にもなっています。こんなにたくさんの電気を、我々は何に使っているのでしょうか。照明、調理、空調などの家電をはじめ、自動車、鉄道、船、航空機、宇宙船、などなど。電気で動かすとどんな良いことがあって、どういう工夫が必要なのでしょう。車や電車などの乗り物が電気で動く仕組みについて、ハイブリッド自動車などを例に紹介します。



大阪電気通信大学
工学部 電気電子工学科 教授 民田 太一郎

後日配信なし

第3回 9月16日(金)

建築学

多様性を重んじる「共生社会」の実現と
「国立図書館」の役割

国立国会図書館関西館
開館20周年記念

図書館の基本的な役割は人種、国籍、出自、信条、年齢、性別、性的指向、経済的地位、識字レベル、身体的能力に関係なく、全ての人に情報と知識へのアクセスを保証することです。図書館は人々の経済的および社会的発展を促進し、知的自由の維持、民主的価値の保護に貢献します。図書や情報サービスの提供以外、国立国会図書館にはヒト、モノ、そして知識などと偶然に出会い、世界を理解し、様々な社会と文化に触れ合えるコモンズとしての社会的機能が求められています。本講演では、多様性を重んじる共生社会の図書館がどうあるべきかを皆さんと考えたいと思います。

京都精華大学 前学長 全学研究機構長 ウスビ・サコ

後日配信あり

健康長寿に必要な
転倒の科学

リハビリテーション学

～転倒を防ぐ術を考える～

転倒は、高齢者の健康問題として国際的に重要な課題であり、世界では高齢者の3人に1人が転倒し、高齢者の致死性・非致死性外傷の第1位とされています。日本においては、地域高齢者の年間転倒発生率が10～25%とされ、高齢者の不慮の事故死の第2位、要介護の原因の第4位となっています。そこで、本講演では、高齢者の転倒に関する最新の研究報告を紹介するとともに、科学的知見に基づいた転倒を防ぐ術について提案したいと思います。

奈良学園大学 保健医療学部
リハビリテーション学科長 教授 辻下 守弘

後日配信あり

言葉で命を扱う

情報科学

～医療・健康テキストの自然言語処理～

今、医療現場が変わりつつあります。病院のカルテだけでなく、お使用のスマートフォンやスマートスピーカーといった新しいデバイス、テレビ通話や写真、つぶやきなど、すこし前では考えられなかった膨大な情報が医療や健康目的で利用可能です。ただ、その多様なデータの相当な部分は自然言語文であり、今後もそれはただちに変わりそうにありません。つまり、医療データの利活用には、この自然言語文を扱う技術が必須となります。本講演では、カルテビッグデータを用いた診断支援、つぶやきを用いた感染症・花粉症の流行推定、スマートデバイスで患者の声を集める試みなど、進行中の研究テーマの概要を具体的にご説明し、議論したいと思っています。

奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科
情報科学領域 メディア情報学分野 教授 荒牧 英治

後日配信あり

ダイコンがもつ
花咲かホルモンの解析

園芸科学

～植物育種に利用可能な“花成誘導台木”の開発に向けて～

植物の育種では交配や採種を効率よく行うために、季節を問わずにその植物を開花させることが重要になります。私たちはダイコンがもつ“花咲かホルモン”に着目し、キャバチやハクサイなどのアブラナ科野菜を短期間で強力に開花させることができる“花成誘導台木”を開発しています。本講演では植物がもつ“花咲かホルモン”の特徴を紹介しながら、私たちの研究事例を中心にその育種や種子生産への応用可能性を解説します。



京都大学 大学院農学研究科 附属農場 助教 元木 航

後日配信なし

仏教建築を飾る絃楽器

美術史学

～箏篋(くご)のはなし～

寺院の仏堂や仏塔の軒先四隅には、飾りとしてベル型の風鐸が吊られています。かつての東アジアの仏教建築の軒先には、風鐸のほかに絃楽器が吊られていたことが、文献や絵画資料からわかります。日本では、その絃楽器を「箏篋」と呼ぶことが多く、奈良時代から明治時代に至るまでの痕跡をたどることができます。この「箏篋」は、正倉院宝物の箏篋とは別の形をしていたようです。資料をまじえつつ、わかりやすくご紹介します。

同志社大学
文化情報学部 文化情報学科 准教授 中安 真理

後日配信あり

7大学や国立国会図書館関西館をはじめ、けいはんな学研都市には、様々な施設が立地しています。[コチラ](#)の紹介動画をご覧ください。

9月から11月はイベントが盛りだくさんです。是非チェックしてください。[コチラ](#)をクリック!



植物と虫の関係に学ぶ

農学

～進化と共存、そして環境循環型アグリシステムの構築へ～

生物は海で進化を遂げ、やがて陸上に進出する。植物と昆虫の陸上化はほぼ同じ時期(およそ4.8～4.5億年前)、我々脊椎動物の祖先は3.8億年前。植物との関係は、昆虫の方が我々よりもはるかに長く、それだけに、昆虫は植物の使い方が非常に巧みである。その能力から学ぶ点は非常に多く、我々の未来に向けた技術開発に大きなヒントを与えてくれる。本講演では、植物と昆虫の関係を軸に、①共進化、②巧みな利用法、そして③新たなアグリシステムの構築、についてお話しします。

京都府立大学
大学院 生命環境科学研究科 准教授 武田 征士

後日配信なし